

アマエビの資源量 潤沢

2017年度日本海ブロック資源評価

魚種	水準	動向
ズワイガニ	中（富山県以西）	横ばい
	高（新潟県以北）	横ばい
ベニズワイガニ	中	横ばい
アマエビ	高	増加
アカガレイ	中	横ばい
ハタハタ	中（北部）	増加
	高（西部）	横ばい
マダラ	高	横ばい
メギス	中	横ばい
ヤリイカ	低	増加

●水産研究・教育機構が発表したところによると日本海に生息するアマエビの資源量が唯一「高位」ならびに「増加」と評価されたそうです。そのほか「高位」と評価されたのはズワイガニ（新潟県以北海域）、ハタハタ（日本海西部）、マダラ（日本海）。また資源動向が「増加」と評価されたのはヤリイカ（対馬暖流）、ヒラメ（日本海北・中部）アマエビは2015年が過去最高で2016年は微減ではありますが過去2番目の資源量だったそうです。北海道ブロックでは大衆魚のホッケは自主的な操業規制をしてきたにも拘わらず資源水準動向は「低位・減少」との評価。禁漁並みの危機的状況だそうです。

イカ製品に影響

●国産スルメイカの不漁による高騰で珍味などの加工業者はその対応に苦慮しています。内容量を減らし価格を抑えたり、値上げ交渉をしたりしています。国産のみならず、代替品の価格も上昇し状況は深刻です。スルメイカとは対照的に豊漁になっているアメリカオオアカイカを使用し商品開発をしている企業もあるようですが味、食感などスルメイカのように行かず完全に切り替えることは難しいそうです。5～6月、石川県沖のスルメイカ漁が一時的に上向きましたがその後も不振が続いています。水産庁は本年度「不漁の前年並みの漁獲量」と予測しています。



入荷状況 & 商品情報

10月
甘エビ
ブリ
ガスエビ
ササカレイ
メギス
ミズウオ
アマダイ
メッキダイ
ノドグロ
ベニズワイガニ



底引き網漁の解禁後は時化の影響で量的にまとまりがありません。その影響から若干の高値推移です。ミズウオやメギスといった大漁物も入荷が少ない状態です。漁次第では安値になる可能性あります。これからの漁に期待しましょう！スルメイカに並び、アカイカの入荷も少ないです。少し早いです。アオリイカの入荷が順調です。ガンド、フクラギ（ブリの幼魚）は潤沢に入荷しています。

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください。